

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	5-8-6-1
事務事業名 下水道受益者負担金徴収事業				部等名	企業局
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	上下水道課
	公共下	07-010101004	細々目名		
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	8	下水道等の整備		
	基本事業名	6	下水道受益者負担金徴収		

事業概要 実施内容	下水道事業に要する費用の一部に充てるため、受益者負担金を賦課・徴収する。 ・負担金の額 1㎡当り380円 ・負担金の徴収 5カ年(年4期)の分割徴収(一括徴収も可能)				
根拠法令等	都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業		事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定( 年度 ~ 年度 )		
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役員費	25,000 円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	421,493 円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	446,493 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		・下水道が整備されることにより受益を受ける土地の所有者又は使用者	
手段(事業の具体的な内容、手順等)	・受益者負担金の算定 ・受益者負担金の賦課・調定 収納は、市税務課へ委託 ・受益者負担金賦課台帳の管理	活動指標名・式(アウトプット)	活動の大きさを表す指標
		指標(1) 名称 調定額 式 指標(2) 名称 式	
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)	下水道整備済区域と未整備区域との均衡を図るため建設負担金の一部を徴収する	成果指標名・式(アウトカム)	意図の達成度を表す指標
		指標(1) 名称 収納額 式 指標(2) 名称 式	
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか 下水道の整備が推進される。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	千円			10,034	4,529	
	活動指標(2)						
	成果指標(1)	千円			8,465	4,313	
	成果指標(2)						
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			446	363
		一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円			0	446	363
人件費	職員数	人			0.05	0.05	
	人件費平均額(年)	千円			8,373	8,373	
	人件費計(B)	千円			419	419	
総事業費(A+B)	千円			0	865	782	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

・事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか? ・下水道の認可区域について、住宅が点在する未整備地区は、現在の財政状況や費用対効果を考えると、今後計画区域の見直しが必要である。 ・現在は、下水道への接続を希望する地区を優先に工事を行っている。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
農家などからは、宅地面積が広いため受益者負担金の額が高いとの苦情がある。

2. 事務事業の評価 (Check)

[ 目的妥当性評価 ]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ
下水道の整備推進に結びつく。	下水道は、市が行う事業とされているため適正である。	対象・意図とも妥当である。
[ 有効性評価 ]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
受益者負担金を完納してもらう。	下水道の整備ができなくなる。また、既納付者との均衡が保たれない。	類似事業はない。
[ 効率性評価 ]		[ 公平性評価 ]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
収納業務を市税務課へ委託するなど、既に合理化を図っている。		負担金の算定・賦課・台帳整理等の業務があり、業務内容から見ても適正である。
受益を受ける土地の所有者全員に賦課しているため、適正である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

<b>(1) 1次評価者としての評価結果</b> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<b>(2) 全体総括 (振り返り、反省点)</b> 市民への説明不足もあってか、受益者負担金についての理解が得られない。																					
<b>(3) 今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	<b>(5) 改革・改善による期待成果</b> 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<b>(4) 改革改善案の概要</b> 受益者負担金制度の本来の目的について理解してもらう。																						
<b>(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策</b> 受益者負担金が高額なため、受益者負担の理解を得るのが難しく、地道に交渉することが必要である。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

<b>(1) 2次評価者としての評価結果</b> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<b>(2) 評価結果の根拠と理由</b>																					
<b>(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	<b>(4) 改革・改善による期待成果</b> 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<b>(5) その他、2次評価会議で指摘された事項</b>																						